

事業計画書

令和5年度

社会福祉法人 健老会
特別養護老人ホーム 錦海荘

— 目 次 —

1. 社会福祉法人 健老会 理念
2. 特別養護老人ホーム 錦海荘 基本方針
3. 令和5年度 重点目標
4. 組織
5. 施設全体の取り組み
6. 各部署の取り組み
7. 季節行事
8. 委員会計画
9. 研修計画

1. 社会福祉法人 健老会 理念

(1) 法人基本理念

地域の社会福祉法人として、高齢者福祉活動を通じて地域の福祉文化の向上と発展に貢献し、共に栄えることを基本理念とする。

(2) 仕事の五大目標

- ① 誠心・誠意のある仕事
- ② 信頼される仕事
- ③ 責任ある仕事
- ④ 感動を創出する仕事
- ⑤ 公明正大な仕事

2. 特別養護老人ホーム 錦海荘 基本方針

「愛と敬意」

私たちは、ご利用者様とスタッフに対し、思いやりと尊敬の気持ちで奉仕いたします。

「調和」

私たちは、ご利用者様とスタッフの『個』を尊重するとともに、調和と秩序ある『集団』として、一体感で法人を支えます。

「社会貢献」

スタッフと家族の安定的な生活や幸せ、法人の発展を通して、社会貢献いたします。

【接遇指針】

バイスティックの7原則

1. 個別化(かけがえのない個人として受けとめ尊重する)
2. 意図的な感情表現(ご利用者様の自由な感情表現を大切にする)
3. 統制された情緒的関与(自分の感情を自覚して調整する)
4. 受容(ご利用者様をありのままに受け入れる)
5. 非審判的態度(ご利用者様の選択を善悪で判断せず、非難しない)
6. 自己決定(ご利用者様の意思に基づく自己決定を促して尊重する)
7. 秘密保持(秘密やプライバシーを保持して信頼感を醸成する)

3. 令和5年度 重点目標

① 各専門職の専門性と責任感をもった「チームケアの実現」

組織で起こる問題は、一部署、一個人の責任ではなく、組織全体の責任です。スタッフ一人ひとりが責任を自覚し、主体者として課題に取り組み、各専門職の専門性を発揮するチームケアの実現を目指します。

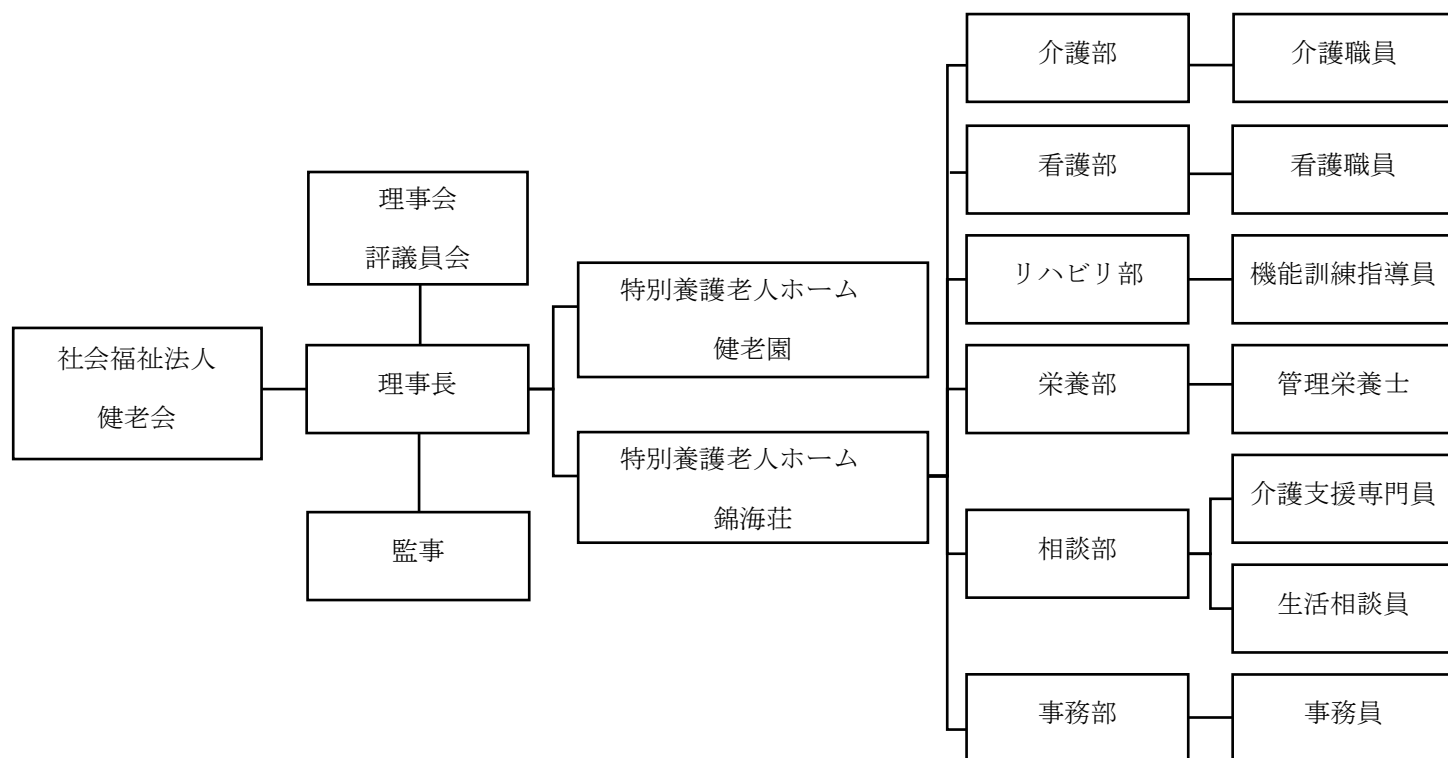
② 主体的かつ根拠に基づいた業務提案による「組織への貢献」

『できない理由』を考えるのではなく、『できる理由』を考えるのが専門職の在り方。受け身ではなく主体者として、根拠に基づいたポジティブな業務提案ができるようになることを目指します。

③ 秩序と思いやりあるチーム育成による「モラルや倫理意識の醸成」

組織のルール、秩序を保ち、スタッフ同士の助け合い、スタッフ一人ひとりの得手不得手をうまくカバーし合う風土をつくります。契約、職業倫理、法令遵守を行動基準とし、ご利用者様が『元気で喜びのある生活を送っていただけること』を一体感で目指します。

4. 組織



5. 施設全体の取り組み

(1) 稼働率95%以上

- ① ご利用者様一人当たりの平均在施設日数を上げることにより稼働率に貢献する。
- ② フットケアによる予防を、積極的に実施できる仕組みづくりをする。

(2) 介護職員5名、看護師2名の採用と定着

6. 各部署の取り組み

(1) 相談部

- ① 稼働率95%以上
- ② 空床が出たら、速やかに埋めるため行動する。

(2) 介護部

① 転倒予防

・安全配慮をしていたと外部に示すことができる、取り組みの実施および記録

② 不適切サービスの改善（ご家族様に信頼してもらえぬ関係性づくり）

- ・洋服の管理
- ・ご利用者様物品の管理
- ・入所時の持ち込み品のチェック記録
- ・フットケアによる予防を、積極的に実施できる仕組みづくり
- ・外気浴や園芸など自然と触れ合うケア実施
- ・役職者：業務改善提案書（5件／月）
- ・役職者および一般職：ヒヤリハット（5件／月）

(3) 看護部

- ・看護の業務内容・業務方針について仕組みづくりをする。
- ・ヒヤリハットや業務提案書、事例提案等の情報提供で評価（5件／月）

(4) リハビリ部

- ・入所時にADL評価を実施し、多職種と共有する。
また、介助方法・整備等を助言する。
- ・ヒヤリハットや業務提案書、事例提案等の情報提供で評価（5件／月）

(5) 栄養部

- ・ソフトを使って嚥下評価をし、多職種と共有する。
- ・ヒヤリハットや業務提案書、事例提案等の情報提供で評価（5件／月）

(6) 事務部

- ・接客業務の質を向上させるため、特に電話対応の向上に重点を置く。

7. 季節行事

4月	お花見会	10月	秋祭り
5月	端午の節句	11月	玉津地区文化祭出典
6月	運動会	12月	クリスマス会、餅つき
7月	七夕祭り	1月	新年会
8月	流しそうめん	2月	節分祭、握り寿司パーティ
9月	敬老会	3月	ひな祭り

8. 令和5年度 各種委員会 年間計画

身体拘束・虐待防止委員会(4回/年)

年間目標 身体拘束、虐待、いじめ、ハラスメントゼロの継続・知識の向上

メンバー 山下・岩井・角井

リスクマネジメント委員会(8回/年)

年間目標 ヒヤリハットに対する正しい認識の浸透

メンバー 山下・槌谷・時岡・松田

防災委員会(5回/年 うち訓練2回)

年間目標 全職員が通報装置の取扱いを習得する

メンバー 山下・岩井・高井

感染対策委員会(4回/年)

年間目標 感染予防とゾーニング周知(4回/年)

メンバー 山下・正躰・荘司・看護職員

褥瘡委員会(8回/年)

年間目標 褥瘡予防

メンバー 山下・正躰・タン・看護職員

入所検討委員会(毎月)

年間目標 急な空床にもスムーズに入所できるよう、予測して事前に行動をする。(毎月)

メンバー 山下・高井・介護役職者・時岡・松浦・看護職員

広報委員会(毎月)

年間目標 求める人材の確保とご家族様に信頼してもらえらる関係性づくりのマーケティング

メンバー 山下・介護役職者

給食委員会(毎月)

年間目標 ご利用者様の身体状況・嗜好を把握し、季節感を味わい楽しめる食事提供

メンバー 山下・松浦・介護役職者・モモテラス(随時)

排泄委員会(毎月)

年間目標 ご利用者様に応じた排便コントロール

メンバー 山下・岩井・槌谷・萩原

9. 年間研修計画

○施設内研修

4月	リスクマネジメント	10月	虐待・身体拘束
5月	腰痛予防	11月	感染
6月	虐待・身体拘束	12月	接遇
7月	感染	1月	排泄
8月	リスクマネジメント	2月	防災
9月	褥瘡	3月	まとめ